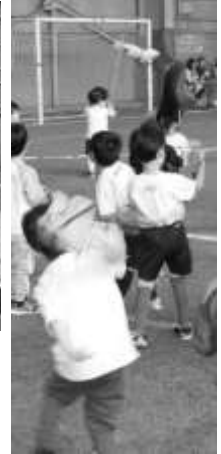


2024. 9. 24 (一社)札幌地区サッカー協会 キッズ委員会

三連休の初日という中でしたが、9月21日(土)、札幌サッカーアミューズメントパーク(SSAP)屋内競技場にU-6のサッカーキッズ42名(年長18名、年中13名、年少6名、3歳児2名、2歳児3名)が集まり、スタッフとともに、サッカーや体を動かすことを楽しんでくれました。

ウォーミングアップは、ボールと仲良くなるためにボールを持ってのストレッチや通り抜け鬼を行いました。また、身に付けているピブスを投げ上げて、キャッチしたり、頭や背中など体のいろいろな部分に載せたりという動きにもチャレンジしてもらいました。しっかりと体を温めること、そして心にスイッチをいれることを、ウォーミングアップでは、大切にしています。



ウォーミングアップ

— 主体的に取り組む子を育もう! —

スポーツを通じて、子どもの主体性を育む取り組みが多く実践されています。(公財)日本サッカー協会(JFA)のキッズプログラムでも、子どもたちの主体性を育むことが重要視されています。子どもたちが自ら考え、自分で判断・選択をして行動する力を養うことで、自己の成長を促し自己肯定感を高め、自律できる子を養うことができます。(一社)札幌地区サッカー協会キッズ委員会としても、今回は「主体的に取り組む子を育む」ことをこれまで以上に強く意識して活動に取り組んでみました。



サーキットトレーニングでは、ラダーやトレーニングポールなど6つの場を用意しました。シュートチャレンジでは、大きさの違うゴールやコーンを置いたゴールなど、合計20か所の場を用意しました。子どもたちには、自分たちでチャレンジしたいところ、自分ができそうなところを選択してもらい、活動の仕方(遊び方)も自分で考えてもらいました。

スタッフは、安全面の配慮、選択・決定で困っている子への関わり、良い動きやアイデアに対しての賞賛の声掛けなどのサポートを行いました。

先日行ったイベントに続き、今回も、北海道コンサドーレ札幌様より「2024『絶対J1残留!大応援』招待企画」として、9月28日(土)の「京都サンガFC」戦のペア10組のチケットをご提供いただきました。チケットも含め、ボールやリュック等、参加した記念全員にプレゼントが当たる大抽選会を行い、楽しんでもらいました。



使った用具の片づけも、自分たちで行ってもらいました。自分のことは自分で行うという気持ちも育みたいものです。

(一社)札幌地区サッカー協会では、1月の「能登半島地震」からの復興へ向けて苦勞されている北信越サッカー協会を支援するために募金活動を行っています。今回のイベントでも3,256円の御協力をいただきました。ありがとうございました。

J1残留  
がんばれ  
コンサドーレ!

